

(別紙)

[I] 第35回「水の週間」運営方針

1. 第35回「水の週間」テーマ

『水の恵み ～東日本大震災を機に考える～』

2. 第35回「水の週間」のコンセプト

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、水供給施設に甚大な被害が生じて広い地域で断水が起きるなど、普段蛇口をひねれば当たり前のように使えた「水」が大きく脅かされました。避難所生活を余儀なくされる多くの被災者の方が求めたものは「水」であり、様々な生産活動も水が届かないことで大きな痛手を受けました。水源から私たちのもとに一刻も早く届くよう、全国一丸で復旧に取り組む必要性が認識されたところです。

「水」について考えてみると、これまで我が国では水資源開発を積極的に推進したこと等から、全体としてみれば日常の生活や食料生産・工業生産といった経済活動において水に困る状況からは脱却しつつあります。また、森が水を育み、川には豊かに水が流れ、水田は水を湛えるといった水が織り成す自然環境は、多様な生き物を育むとともに美しい文化・景観を形成してきました。このような「水は当たり前」という今日の状況は、これまでの先人達の努力による「水の恵み」とも言えます。

しかし、我が国は地震をはじめ自然災害の多い国であり、このような自然の脅威と今後も向き合っていかななくてはなりません。今回の東日本大震災を契機に、私たちが受けている様々な「水の恵み」を守り続けるために、一人一人何ができるのか考えてみましょう。

[II] 行事計画

1. 水の週間中央行事

主催	国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
後援	文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
(予定)	(独)水資源機構、(財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、
	(社)日本新聞協会
協力	TOTO(株)、電源開発(株)、三菱レイヨン・クリンスイ(株)

(1) 水の展示会

日 時 7月29日(金)～31日(日) 9:30～16:50

※初日のみ10:30～16:50

場 所 科学技術館2階(東京都千代田区北の丸公園2-1)

出 展 国土交通省関東地方整備局、東京都水道局、(独)水資源機構、(独)国際協力機構、(社)農業農村工学会、(社)ダム工学会、(社)日本治山治水協会、NPO法人日本水フォーラム、巧水(たくみ)スタイル推進チーム、TOTO(株)、電源開発(株)、三菱レイヨン・クリンスイ(株)

(2) 水を考えるつどい

日 時 8月1日(月) 13:30～16:30

場 所 科学技術館サイエンスホール

内 容 ①水の週間関連表彰式

- ・水資源功績者表彰
- ・全日本中学生水の作文コンクール
- ・水とのふれあいフォトコンテスト

②シンポジウム

テーマ 「水の恵み ～東日本大震災を機に考える～」

内 容 被災地関係者や有識者による講演 等

入場料 無料(事前申し込み制)

2. 水の週間一斉打ち水大作戦

日 時 8月1日(月)～7日(日)

場 所 各地

内 容 水の週間に合わせた一斉打ち水を各地で実施

水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省

日 時 8月2日(火) 12:30～

場 所 中央合同庁舎3号館玄関前

内 容 昼休み時間を利用して職員による一斉打ち水を実施(下水再生水や庁舎内の風呂の残り湯を利用)

3. 第31回隅田川レガッタ

日 時 8月7日(日)

主 催 (社)東京都ボート協会

協 賛 水の週間実行委員会ほか

場 所 隅田川(言問橋～吾妻橋)

内 容 広く国民が水や川に親しみや関心を持つための親水運動として、一般・大学0B、中学生等によるエイト、ナックルフォア等のボート競技を実施